



師走です

早いもので、もう十二月、令和3年も最後のひと月となりました。朝の寒さは、冬そのものですが、子供たちは元気に登校してきます。冬休みまであと2週間あまり、いろいろな楽しみも控えているでしょうから、寒さで体調をこわしたりしないよう気をつけて、毎日を過ごしてもらいたいと思います。

そんな中、世界では再び新規感染者が増加に転じている国もあるようですし、オミクロン株という変異株に対する厳重な警戒も求められています。とは言っても、私たちが日常生活で行うことは、これまでと変わりません。こまめな手洗いや消毒、マスクの着用、3密の回避。年末年始をみんなで楽しく過ごすためにも、油断をせず、やるべきことを続けていきましょう。

毎年、ありがとうございます

先月24日(水)、地区協議会環境部の皆さんを中心とした樹木選定作業を実施していただきました。毎年お世話になっていますが、今年も20名弱の皆さんにご参加いただき、学校南側のフェンスに面した樹木をきれいに刈りそろえていただきました。以前と比べると、樹木の数が減ったので、予定していた時間内に作業を終えることができました。お陰様で、さっぱりした環境で新しい年を迎えられそうです。

作業終了後は、給食を食べていただきました。当日は和食メニューで、皆さんにはおいしく食べていただけたと思います。大人になって給食を食べる機会は滅多にないと思いますので、そういう意味でも喜んでいただけたと思います。

そのほか、丸付けボランテニアなどの活動も再開していきます。学校に寄せていただく地域の力に感謝しています。

世界人権デー・人権週間

今月10日(金)は、世界人権デーです。1948年の国連総会で世界人権宣言が採択されたことを記念して、1950年の国連総会で定められたものです。我が国では、この12月10日を最終日とする1週間(12月4日〜10日)が人権週間に定められています。我が国固有の差別である同和問題をはじめ、私たちの身の回りには様々な差別の問題が潜んでいます。最近では、新型コロナウイルス感染症に関わる差別も報道されています。

インターネット社会となったことで、これまでとは比べものにならない速さや規模で、第三者に対する誹謗中傷、差別の拡散が行われており、そのため命を落とした人もあります。差別の問題は、私たち一人一人の心の中にある問題です。自分と同じように他の人も大切にしようとする気持ちや行動力を大人が示すことから始める必要があります。子供たちは見えています。

よいお年を

令和3年は、昨年に続き新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた1年でした。早く収まって欲しいと願うばかりですが、それがいつ頃になるのか、未だに見通しは立っていません。その一方で、これまで当たり前と思っていたことへの見直しが進んでいることも確かです。前例どおりにはできないから何か工夫して、或いは、別の案を考えて、という動きは社会にも学校にも出てきています。それでやってみたら、そちらの方が効果的だった、ということもあるかもしれません。

これからの世の中は、伝統を大切にしながらも、変化を取り入れたり、受け入れたりする柔軟性がますます求められるようになるのかもしれない。「不易と流行」という言葉はよく教育の世界で用いられますが、今後は一層の重みを持ちそうです。ともあれ、令和3年が終わります。どうぞよいお年をお迎えください。